

高島高等学校 令和5年度 公民 政治経済 年間授業計画

教科：公民 科目：政治経済 単位数：2単位

対象学年組：第3学年3組～8組

教科担当者：（3組：相沢栄）（4組：横井大和）（5組：相沢栄）（6組：横井大和）（7組：相沢栄）（8組：相沢栄）

使用教科書：（高校政治・経済 新訂版 （実教出版））

使用教材：（最新図説 政経 （浜島書店））

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>4月</p> <p>第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原 理 4 世界の政治体制 第2章 日本国憲法の基本 的性格 1 日本国憲法の成立</p>	<p>民主政治の諸原理は、各国の政治制度にどのように反映されているのか理解する。 大日本帝国憲法と日本国憲法を比較し主権や基本的人権の違いについて理解する。</p>	<p>欧米・アジア諸国を例に、それぞれの政治制度の違いや特徴が理解できているか、定期考査及び提出物で評価する。</p> <p>日本国憲法の制定過程から現在までの政治過程を理解できたか定期考査及び提出物で評価する。</p>	5

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>5月</p> <p>第1編 現代の政治 第3章 日本の政治機構 1 立法 2 行政 3 司法</p>	<p>国権の最高機関であり唯一の立法機関であるとされる国会の運営における課題について理解する。 内閣がどのように構成されるかを理解し、内閣総理大臣がもつ地位と権限を理解する。 司法権の独立を保障するための憲法の規定について理解する。</p>	<p>三権分立の関係性及び、国会の地位、内閣の構成や権限、国会との関係性を図式資料を使用し、定期考査及び提出物で評価する。</p> <p>裁判所が持つ司法権のしくみを定期考査及び提出物で評価する。</p>	5

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>6月</p> <p>第1編 現代の政治 第4章 現代日本の政治 1 戦後政治の歩み</p>	<p>第二次世界大戦後の日本の政治について理解し、日本の政党政治の特徴と課題について理解する。</p>	<p>戦後の日本国憲法制定から現在までの政治過程を理解できたか定期考査及び提出物で評価する。</p>	<p>7</p>

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>7月</p> <p>第1編 現代の政治 第5章 現代の国際政治 2 国際連合と国際協力 6 国際政治と日本</p>	<p>二度の世界大戦を経て誕生した国際連合が世界の平和と安全のために果たしている役割を理解し、国連連合がかかえている課題について理解する。 戦後日本の国連中心主義を基調とした外交政策を理解し、その課題を理解する。</p>	<p>国際連盟と国際連合の違い、国際連合の役割及び国際連合の課題について理解できたか提出物及び定期考査で評価する。</p> <p>国際紛争の原因を理解し、日本の貢献について理解しているか提出物や定期考査で評価する。</p>	3

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	第2編 現代の経済 第2章 現代経済のしくみ 1 市場機構 2 現代の企業	市場の機能と各経済主体の役割を理解する。 企業の様々な形態について理解し、現代の企業が利益追求のほかに何が求められているのか理解する。	市場が果たす機能と役割について理解できたか、定期考査及び提出物で評価する。 現代の企業が利潤だけでなく社会貢献の役割を果たすべきだとするCSRについて理解できたか、定期考査及び提出物で評価する。	5

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>10月</p> <p>第2編 現代の経済 第2章 現代経済のしくみ 3 国民所得と経済成長 第3章 現代経済と福祉の 向上 6 労使関係と労働条件 の改善</p>	<p>経済規模をあらわす指標について理解し、それらの 指標の限界や代替指標についても理解する。 経済成長や景気循環、物価の変動が生じるメカニズ ムについて理解する。 労働者が安心して働くための法律や制度について理 解する。</p>	<p>国民所得、国内総 生産、経済成長率 の意味と計算方法 を理解できたか定 期考査及び提出物 で評価する。</p> <p>現在の労働環境か らどのような労働 問題があるか理解 したことを定期考 査及び提出物で評 価する。</p>	6

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>11月</p> <p>第2編 現代の経済 第3章 現代経済と福祉の 向上 7 社会保障の役割</p>	<p>急速に進む高齢化と、経済の停滞にともなう国民の 貧困問題に直面している日本において、今後の社会 保障の制度や財源のあるべき姿について理解する。</p>	<p>我々のセーフティ ネットにはどのよ うなものがあり、 どのように利用す るのか定期考査及 び提出物で評価す る。</p>	<p>6</p>

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>12月</p> <p>第2編 現代の経済 第4章 世界経済と日本 1 商品・資本の流れと 国際収支</p>	<p>国際間の取引がどのようにおこなわれているのか理解し、為替相場が決まるしくみについても理解する。</p>	<p>国際収支の仕組みとそこからわかる経済状況について理解しているかを定期考査及び提出物で評価する。</p>	<p>5</p>

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	第2編 現代の経済 第4章 世界経済と日本 2 国際経済体制の変化	戦後の国際経済体制のもとで自由貿易が促進され各国の経済発展が促される一方で各国で生じた経済格差への対策について理解する。	国際経済体制の変化の理由と、現在の状況について理解しているかを定期考査及び提出物で評価する。	5

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月				

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				